

年頭所感

令和3年度、改めてのオリンピックイヤーです。それも東京オリンピックが開かれようとしています。特に、山梨県も自転車競技ロードレース会場となる予定があります。東京都の武蔵野の森公園をスタート会場とし、神奈川県から山梨県の道志村に入り、山中湖村を經由し、静岡県内の富士スピードウェイでゴールします。コースの総距離は男子約244km、女子約147km、獲得標高（スタートからゴールまでの上った高さの合計）は、男子約4865m、女子約2692mとなります。日本を象徴する富士山を望みながら、起伏の激しい難易度の高いレース展開が期待されるコースとなっています。競技日程は男子7月24日（土曜日）11時から18時15分。女子7月25日（日曜日）競技時間13時から17時35分です。道志道または籠坂峠で応援している自分の姿を想像するだけでワクワクしてきます。そして、それを実現するために何ができるか考えて、一步一步確実に準備してその時をつくろうと思います。皆さんは今年何をしますか？

（一部山梨県HPより抜粋）

上条中学校 校長 茅野賢一

自主性は上条の伝統

大きな災害が起きるたびに、日本人のモラルの高さが注目されます。他国ほど略奪や犯罪が多くない国だということもさることながら、配給物資を順序よく整然と受け取り、他者への思いやりを示す言動に賞賛が集まります。普段生活をしているとなかなか日本人の良さには気づくことのできないことが感じられる場面です。

同様に上条中学校生の連帯の強さを改めて感じるがありました。12月3日の先生方が書いている日直日誌の感想を読んでのことです。「先日の研修の中で、児童生徒のマスク着用の様子が話題になりました。5月の始業式から今日まで、本校の生徒は本当によく着用しているんだなあと誇らしく思いました。生徒たちの予防行動のおかげで風邪の流行やインフルエンザの発生なく冬を迎えられています。このままあと3週間元気に過ごしてほしいと思います。」また、凍てつくような朝、手洗いを臆さず行う皆さんの姿にも同様の感想が持たれています。この先生の言葉の背景には、研修会での話し合いで他校の様子を聞き、それと比較している様子が感じ取れました。本校で普通に行われてきたことが、他の学校を意識すると誇らしいと思えることだったのでしょ。

学校生徒会が中心となり、マスクの着用をはじめコロナウイルス蔓延防止に向けて呼びかけを行ってきたことが大きく影響しています。自主性・主体性を重んじる上条中学校の伝統がここに生きています。今後もこの伝統を大切に育んでいって欲しいと願っています。（冬休みの生活の話より）

火災を想定しての防災訓練と地区別集会

12月3日(木)

3Fからの火災を想定した防災訓練を行いました。その後コロナ禍の影響で延びていた地区別集会ができました。



冬から春にかけての環境整備 園芸委員会



園芸委員会が冬から春にかけて咲くパンジーやチューリップの球根を植えました。これから益々寒くなるこの時期ですが、委員会活動が継続的また、活発に行われて、学校に豊かさがあふれることを願っています。

学校生徒会選挙

12月9日(水)

学校生徒会選挙立会演説会ならびに投票が行われました。選挙活動は立候補者と責任者の2人で行いました。立会演説会はZOOMを使ってはじめての会、演説はビデオで放映をしました。

今後生徒会活動は2年生が主体となり運営されます。新しい時代の上条中学校生徒会、2年目を迎えることとなります。より一層「創造」されていくことを楽しみにしています。

朝の選挙活動



投票風景

立会演説会はじめての会



立会演説会学級の様子

